

平成29年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分)

ニホンザル	
白石市	1
角田市	3
蔵王町	5
七ヶ宿町	7
川崎町	9
丸森町	11
仙台市	13
山元町	16
加美町	18

平成30年6月

宮城県環境生活部自然保護課

平成29年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

白石市

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.84 ha 0.93 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 2,220 千円 2,467 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、リンゴ等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 3.29 ha</p> <p>(2) 金額 3,494 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、リンゴ、柿、野菜等</p> <p>(4) その他</p>	<p>被害面積、被害金額ともに増加した。農作物被害により、耕作を止めた農家も多い。ため金額に反映されない被害も多い。また、人への威嚇などの被害もある。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器による群れの追い上げ及び捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助の継続。</p> <p>(3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するように農家への指導を徹底する。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による追い上げ・捕獲を実施した。</p> <p>(2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を継続した。</p> <p>(3) 現地確認、公報配布時の回覧時に廃棄野菜・生ゴミを処理するよう指導を行った。</p>	<p>対策を強化していく。</p>		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 一群の追跡調査</p> <p>(2) 発信機装着</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 19 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1) 追跡調査を行った。</p> <p>(2) 発信機装着を行った。</p>	<p>19頭を捕獲した。 3群(江志前の群れ、新町群、不明群)各1頭に発信器を装着した。</p>		

<p>4 生息環境管理 (1) 水稻の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進する。 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進する。</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 水田周辺の除草作業を推進した。 (2) 山林側の除草作業を推進した。</p>	
<p>5 その他 (1)</p>	<p>5 その他 (1)</p>	

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

角田市

H29計画		H29評価		評価
1 被害軽減目標	被害状況	被害は若干発生したが、実施隊による定期的なパトロールや追払いにより、最小限に防止できた。		
(1) 面積（下段前年度）	(1) 面積	0.01 ha		
(2) 金額（下段前年度）	(2) 金額	7 千円		
(3) 作物	(3) 作物	未成熟トウモロコシ		
(4) その他	(4) その他			
2 被害防除対策	2 被害防除対策	実施隊2名による定期的パトロールを、また、出沒情報に基づき追払いを実施したことにより被害の抑止が図られた。		
(1) 柿の実などの放置をなくすよう周知する。	(1) 柿の実などの放置しないよう呼びかけた。			
(2) 銃器による追上げ、追い払いを実施する。	(2) 銃器による追上げ、追い払いを実施した。			
(3) ニホンザル用の電気柵設置を推奨する。	(3) ニホンザル用電気柵設置を紹介した。			
3 個体数管理	3 個体数管理	捕獲実績はなかつた。ニホンザルの出沒、被害発生が予測されるので、引き続き捕獲に努めていく。		
個体数調整による目標捕獲数	個体数調整による捕獲数	頭		
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭		
発信機装着の増設数	発信機装着の増設数	頭		
発信機装着の更新基数	発信機装着の更新基数	頭		
(1)	(1)			
(2)	(2)			

<p>4 生息環境管理 (1) 実施隊による被害防止パトロールを実施 (2)</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 実施隊による被害防止パトロールを実施 した。 (2)</p>	<p>実施隊による定期的なパトロール等は、結果として生息環境に適する領域への誘導に有効であると考える。</p>
<p>5 その他 (1) 広報等による被害防止対策の呼びかけ</p>	<p>5 その他 (1) 相談ケースごとに、注意を呼びかけた。</p>	<p>住民の被害防止意識の浸透が課題であるので、引き続き呼びかけを行っていく。</p>

平成29年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

H29計画	H29実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.02 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 10 千円 40 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.02 ha</p> <p>(2) 金額 34 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>防除対策の効果に加え、山の裏りが良かったこともあり、里山への出没が少なかったため、農作物への被害が前年度より減少した。結果、被害面積は目標値を達成し、被害金額は目標値の3.4倍と目標値を大きく上回る結果ではあったが、前年度実績より被害金額は15%減少した。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火火を併用した効果的な追払い、捕獲を実施した。 捕獲実績 2頭</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。</p> <p>(3) 目撃報告等があった農家へ餌となる収穫放棄された果樹や野菜、農作物残渣をなくすことを指導した。</p>	<p>近年、サルの目撃情報が徐々に増加しているため、今後も追い払い活動や防除対策等を継続して実施し、今後も群れが生息していない環境を維持していきたい。</p>

<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による自標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 2 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 従来のテレメトリー法を用いた位置特定調査ではなく、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施した。</p> <p>(2)</p>	<p>今後もGPS発信機を用いた生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や遊動域、利用地域の変化を追うだけでなく、群れのより詳細な利用場所の把握を試み、今後の対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 目撃や被害報告があった農家へ耕作地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p> <p>(2)</p>	<p>山の実りが良かったこともあり、里山への出没が少なかったため、耕作地又は宅地と生息地である森林等との間を除草することにより、人気の少ない山林付近の農地又は宅地でも出没を大幅に減少させる効果がみられた。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。</p>	<p>今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。</p>

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 5.30 ha 7.03 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 2,930 千円 2,740 千円</p> <p>(3) 作物 そば、水稻、野菜の被害軽減</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.31 ha</p> <p>(2) 金額 307 千円</p> <p>(3) 作物 水稻、豆類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>前年度に比べ、被害面積及び金額ともに大幅に減少した。要因としては、おじろ用心棒式電気柵の整備、電気柵設置に係る費用の補助等が考えられ、今後も継続して行う。</p>	<p>前年度に引き続き、発信器取り付けを行った。また、有害捕獲については、電気柵設置の効果があり、人里へ下りてくる回数が減少し、32頭の捕獲に至った。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵設置の推奨</p> <p>(2) 電気柵講習会の開催</p> <p>(3) 追い払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵設置の推奨を行った。</p> <p>(2) 追い払い活動を重点的に行なった。</p> <p>(3)</p>	<p>電気柵の効果はあったものの、未設置の田畑を中心に被害があった。電気柵設置の推奨を今後も継続して行う。</p>		
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭</p> <p>発信機装着の増設数 3 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 7 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 32 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 2 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施を行った。</p> <p>(2)</p>			

<p>4 生息環境管理 (1) 放棄、取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 指導を行ったが、未収穫野菜の放置があった。 (2) 広報を行ったが、耕作放棄地の軽減には至らなかった。</p>	<p>指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い活動を重点的に継続して行う。</p>
<p>5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施</p>	<p>5 その他 (1) 効率的な追い払い活動及び生息調査を実施した。</p>	<p>今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。</p>

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

川崎町

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.40 ha 0.28 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 346 千円 242 千円</p> <p>(3) 作物 かぼちや、大豆、トウモロコシ等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.46 ha</p> <p>(2) 金額 706 千円</p> <p>(3) 作物 水稻・かぼちや・なす・きゅうり・にんじん・ねぎ・白菜・果樹</p> <p>(4) その他</p>	<p>昨年度より人里に下りてきて、農地を荒らしている光景が多く確認された。人家の周辺に住み着いたことで、人馴れが進み人的被害も今後考えられるため、早急に地域全体での被害対策を進めていかなければいけない。</p>	<p>評価</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 実施隊による捕獲活動の実施</p> <p>(2) 電気柵の普及、補助</p> <p>(3) 広報等での有害鳥獣の対策紹介</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵の補助、週1～2回の実施隊による町内パトロールを行った。</p> <p>(2) 広報等での有害鳥獣対策紹介はできなかつたが、被害現場確認の際には効果的な防護柵の設置方法や、対策の指導を行った。</p> <p>(3)</p>	<p>畑の周辺の山に多くの群れが住み着いているため、捕獲活動のみでは被害の減少には至らなかった。今後農家にも防除方法を指導していき、地域での防除を図りたいと思う。</p>	<p>評価</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 生息域調査の実施 (2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 12 頭</p> <p>発信機装着の増設数 2 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 0 頭</p> <p>(1) 生息域調査の実施を行った。 (2)</p>	<p>今後も生息域調査の実施を行っていき、分布の状況を把握し効率的な駆除に努める。</p>	<p>評価</p>	

<p>4 生息環境管理 (1) 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。 (2)</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 看板の設置及び耕作放棄地の除草は行えなかった。 (2)</p>	
<p>5 その他 (1)</p>	<p>5 その他 (1)</p>	

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

丸森町

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>0.10 ha</p> <p>0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>100 千円</p> <p>0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>水稻、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>0.00 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>鳥獣被害対策実施隊による銃器による追払い及び捕獲を、2人体制で実施(年間延べ240日)したほか、週4日間のサル追払いパトロール員による花火を使っての追払いなどの効果があった。</p> <p>・役場に寄せられた住民からの通報内容を、いち早く実施隊員及びパトロール員に連絡し、追払い活動や捕獲につなげ、効果があった。</p>	<p>鳥獣被害対策実施隊による銃器による追払い及び捕獲を、2人体制で実施(年間延べ240日)したほか、週4日間のサル追払いパトロール員による花火を使っての追払いなどの効果があった。</p> <p>・役場に寄せられた住民からの通報内容を、いち早く実施隊員及びパトロール員に連絡し、追払い活動や捕獲につなげ、効果があった。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援</p> <p>・電気柵設置に対する補助</p> <p>・追払い用火火の無料配布(希望者)</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p> <p>(3) 追払いパトロール員による花火での追払いの実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 花火による住民自らの追払いのため、無償で追払い用火火を配付した。</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器での追払い、追い上げ、捕獲の実施 年120日出役、捕獲14頭</p> <p>(3) 臨時作業員2名による追払いパトロールの実施 週4日</p>	<p>・追払い用火火を使った住民による自主的な活動の効果があった。</p> <p>・実施隊員とパトロール員の連携により、サルの発生地点の把握、追い上げや捕獲の実施。住民に対する防除対策指導などの効果があった。</p>	<p>・追払い用火火を使った住民による自主的な活動の効果があった。</p> <p>・実施隊員とパトロール員の連携により、サルの発生地点の把握、追い上げや捕獲の実施。住民に対する防除対策指導などの効果があった。</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。</p>	<p>・広大な範囲を巡回するため、発信機の装着は場所を特定するのに有効である。サルの群れを中心に追払いを実施し、実施隊員、パトロール員らの連携が効果的に行われている。</p>	

<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 有害鳥獣被害防止対策研修会を開催し、捕獲、防除、環境整備について、専門機関の講師を招き講話をいただいた。</p> <p>(2)</p>	<p>・高齢化、担い手の減少、耕作放棄地の増加に伴い、山と里の中間地などの荒廃によって、人間と野生鳥獣との本来の住み分けが失われている。農業後継者不足などのため、農地や山林の環境整備を自力で行うのは困難な集落もあり、中山間地直接支払制度の活用による集落単位の対策を行っている。</p> <p>・有害鳥獣被害防止対策研修会を開催し、野生鳥獣の生息環境を知るとともに、捕獲、被害防除対策、生息環境の整備を組み合わせることで効果的であることを研修した。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。</p>	<p>・南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会に参加し、県境を越えた被害対策などについて連携を図った。</p>

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

仙台市

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.25 ha 0.13 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 470 千円 168 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、玉ねぎ、長ねぎ、馬鈴薯、トウモロコシ等</p> <p>(4) その他 サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や所有者に呼びかけ、注意喚起を行うことにより、生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.10 ha</p> <p>(2) 金額 94 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、大豆、玉ねぎ、ねぎ、スイートコーン、かぼちや、ばれいしよ、すいか、秋夏トマト、もも、いちじく、かき、栗、秋夏トマト</p> <p>(4) その他 チラシ等を活用し、サルのエサとなる誘引物(果樹や農作物の残さ等)の除去や適切な管理を所有者に呼びかけ、注意喚起を実施。</p>	<p>面積、金額ともに目標を達成。</p>		
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 日常的な啓発・注意喚起 ・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。 ・特に出役が多い地域において、サルの被害防除対策を地区祭り等で啓発。 ・農作物収穫後の残さ処理の指導等。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) ・市ホームページやチラシ等で、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について広報及び啓発。 ・宮城総合支所及び秋保総合支所で開催された地区祭りにおいて、出展啓発。</p>	<p>計画どおり日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施。</p>		

<p>(2) 出没情報を受けた際の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い、除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導。 ・必要に応じて、花火による追い払いを実施。 ・被害状況により、猟友会等と連携し地域の特性に応じた追い上げや、箱わなの設置・捕獲を実施。 ・国の鳥獣被害防止総合支援事業の活用による、ニホンザルの捕獲経費への補助(成獣:8,000円/頭、幼獣:1,000円/頭) 	<p>(2) 必要に応じて、花火による追い払いや、出没地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲を2回、小規模追い上げ・捕獲を9回実施。 ・国の鳥獣被害防止総合支援事業の活用による、ニホンザルの捕獲経費への補助(566,000円) 	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 130 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 12 頭</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 群れの生息状況管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波発信機装着により、群れの位置情報の把握 15群 	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 73 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 12 頭</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 電波発信機装着により、群れの位置情報の把握 14群 (秋保大滝A群は捕獲により消滅)</p>	<p>個体数調整による捕獲数は目標を下回ったものの、電波発信機の装着や捕獲対策については計画どおり実施。</p>
---	--	---	--	--

<p>(2) 個体数調整による捕獲対策(人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱わなによる捕獲実施 設置数 27基 (最大) ・定期パトロールによる捕獲実施 週1回 ・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施 (秋保地区) 2 基 ・農地や人家に出没を繰返し、山に戻らない群れについては、猟友会等関係機関と連携し、地域特性に応じた追い上げ・捕獲を実施。 	<p>(2) 箱わなによる捕獲</p> <ul style="list-style-type: none"> 54頭 ・定期パトロールによる捕獲 6頭 ・大型捕獲施設による捕獲 5頭 ・追い上げ・捕獲 8頭 	
<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発。 ・群れの位置情報の把握、追い上げや捕獲への活用。 ・猟友会等関係機関と連携した効果的な追い上げや捕獲の実施。 	<p>4 生息環境管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページやチラシを活用しサルとの適切な接し方や被害防止対策について、広報啓発。 ・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、猟友会等関係機関と連携の上、追い上げや捕獲を実施。 	<p>計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>
<p>5 その他 (1)</p>	<p>5 その他 (1)</p>	

平成29年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

H29計画		H29実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		・主に5月～9月の時期に被害があり、被害にあわれた方々に対しては、追い払い用の花火の提供により対応をした。 昨年度と比較すると、被害面積及び金額が大幅に減少しているため、今後も減少する可能性がある。
(1) 面積(下段前年度)	0.04 ha 0.61 ha	(1) 面積	0.01 ha	
(2) 金額(下段前年度)	100 千円 127 千円	(2) 金額	11 千円	・サルの目撃情報の周知などにより、住民のサルの被害があることの認識が深まったと考えられる。
(3) 作物 りんご、野菜		(3) 作物 野菜、柿		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		
(1) 緊急出勤体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。		(1) 緊急出勤体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。		
(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。		(2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行った。		
(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。		(3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知を行った。		

<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 10 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) これまで捕獲した実績はないが、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲する必要がある。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 山元町においては、サルが目撃情報や農作物被害はあるが、群れの確認はなく、生息数も増加している傾向は無いと思われる。</p>	<p>被害面積が減少しているものの、来年度被害が拡大するようであれば調査を行い、被害軽減及び個体数調整のため捕獲に努める。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 5月～9月に山元町北部で農作物の被害があった</p>	<p>放置した農作物が、誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられるため、農家に再度周知する必要がある。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	

平成29年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

H29計画		H29実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度)</p> <p>1.03 ha 5.20 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度)</p> <p>243 千円 212 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 果樹, いも類, 自家消費野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積</p> <p>3.77 ha</p> <p>(2) 金額</p> <p>507 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 果樹, いも類, 自家消費野菜</p> <p>(4) その他</p>		<p>被害面積は少なくなっているものの被害額が増えている。</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防除</p> <p>(2) 被害防除機罪への導入助成</p> <p>(3) 音火花による追払い</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防除</p> <p>(2) 被害防除機罪への導入助成</p> <p>(3) 音火花による追払い</p>		<p>被害面積が減少していることから、一定の効果は得られている</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数</p> <p>発信機装着の増設数</p> <p>発信機装着の更新基数</p> <p>(1) サル用囲いわなの設置</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>頭</p> <p>30 頭</p> <p>頭</p> <p>頭</p> <p>頭</p>	<p>行動範囲が広域に渡るため、中々捕獲に至ることが出来なかった。</p> <p>サル用囲いわなを設置したが、まだ成果は不十分であるが、継続して設置していく。</p>	

<p>4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕地放棄地の刈払いの推進</p>	<p>4 生息環境管理 (1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進 (2) 耕地放棄地の刈払いの推進</p>	
<p>5 その他 (1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>5 その他 (1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	